

# 宍道高校図書館だより〈地域版〉

2024年  
6月21日発行  
令和6年度第3号

この「図書館だより」は、宍道高校ホームページでもご覧いただけます。  
URL(アドレス)は <https://www.shinji-h.ed.jp> です。



## 「ごきげん」に過ごしましょう😊

蒸し暑い日が続きますね。気分がスッキリしない方も多いかと。天気を恨んでもしょうがありません。少しでも楽しいことを思い浮かべて、「ごきげん」に過ごしましょう。「ごきげん」にしてくれそうな「旅」の本と「写真」の本を紹介します。

### 本の中で旅しましょう！

#### ・ハワイ樂園&絶景100

この絶景写真を見ただけで、ハワイに行った気分。

#### ・韓国ひとめぼれ感動旅 小暮真琴・康熙奉/著

韓流口ケ地&ご当地グルメ紀行

#### ・おがっちの韓国さらん本 おがっち/著

ラジオでおなじみのおがっちさんの韓国愛、満載！

#### ・人生で最高の一日 旅に出て幸せを見つけよう

旅人88人の体験した絶対に忘れられない旅の物語

#### ・ふらり珍地名の旅 今尾恵介/著

読むと、珍地名の地と一緒に歩いているみたい。



### ＊「気軽に写真を撮ってみる」と写真集

#### ＊・かわいい写真の撮り方手帖

＊ 美味しいもの、かわいいペット、何気ない風景、家族…あなたの“好き”を撮りましょう。

#### ＊・まるごとわかる！撮り方ブック

＊ iPhone&スマホの写真が、ちょっとしたコツでみるみるステキに！

#### ＊・浅田家

＊ 写真家・浅田政志が自分の家族を巻き込んで撮影した、思わず笑っちゃう写真集。

#### ＊・水の屋久島

＊ 屋久島の美しさに水は欠かせない。



## 宍道高校図書館は地域の皆様もご利用になれます

### 利用できる方

宍道町内在住の18歳以上の方

(登録時に住所等を確認できるものがが必要です。)

### 利用できる日時

月曜～金曜 午前10時～午後4時

- ・学校行事等のため利用できない場合もあります。
- ・事務室で受付をしてからご来館ください。
- ・来校者の名札をお願いします。

貸出 一人5冊まで2週間 借りられます。

お問い合わせは

宍道高校 (TEL. 0852-66-7577)  
図書館 渡部まで

### 7月の地域開放予定日



変更する場合もあります

利用できない日

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木   | 金  | 土  |
|----|----|----|----|-----|----|----|
|    | 1  | 2  | 3  | 4   | 5  | 6  |
| 7  | 8  | 9  | 10 | 11  | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18  | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25  | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | 8/1 | 2  | 3  |

利用できる時間:午前10時～午後4時

1日は1時～2時は授業のため利用できません。

5日、12日は午後1時まで利用できます。

事務室前の返却ポストは、

平日の朝7時半～夕方7時まで

# 新着図書案内

## 島根県の本

○西蔵系出雲族の伝説 渡部秀樹/著  
島根出身の著者が祖父の遺品を調べるうちに出雲とチベットがつながりを持つこと知る。新事実を明かす。

## 心理・福祉・教育

- 学校でも会社でも教えてくれない「見た目」の教科書 人の感情は「第一印象」が大事！
- 気づかいの壁 「気がつくだけの人」を「気が利く人」に変えるたった1つの考え方
- 人間関係ってどういう関係？
- 仕事に役立つ新・必修科目 情報1
- 簡単そうで奥が深い小学校6年分の算数
- 0～3歳のこれで安心子育てハッピーアドバイス

## 料理

- 給食の先生がつくる家族愛されごはん 栄養士・食育インストラクターでもある著者の家族に愛されごはんのレシピ集
- 私にやさしい野菜ごはん 手間をかけず、たっぷり野菜がとれる、体にやさしいレシピ本
- 自分のために料理を作る 自炊からはじまる「ケア」の話 誰かのためなら作れるけれど、自分のためには作れない人6人の3か月。



## 小説

○家族解散まで千キロメートル (浅倉秋成/KADOKAWA)  
実家の片づけ中に「青森の神社の盗まれたご神体」にそっくりなものを発見。父の犯行と確信し、一同で青森へ返却に向かうが…。

○俺たちの箱根駅伝 上・下 (池井戸潤/文藝春秋)

崖っぷちの古豪チームの負けられない戦いと中継するテレビ関係者たちの苦悩と奮闘を描く。



○spring (恩田陸/筑摩書房)

8歳でバレエと出会い、15歳で海を渡った舞踏家・振付師の萬春(よろず・はる)。踊る者、作る者、見る者、奏でる者それぞれの情熱がぶつかりあい、交錯する。舞踏の「神」を追い求めた一人の天才をめぐる物語。

○黄色い家(川上未映子/中央公論新社)

花はニュース記事で黄美子が若い女性の監禁・障害の罪に問われていると知る。20年前、花も黄美子と少女たち2人と家族のように暮らしていて…。

○グリフィスの傷 (千早 茜/集英社)

傷をめぐる10の物語を通して“癒える”とは何かを問う短編小説。

○三淵嘉子 日本初の女性弁護士 (長尾 剛/朝日新聞出版)

NHK 朝ドラのモデルとなった、三淵嘉子の夢と生きざま、戦いを描く。

○有罪、とAIは告げた(中山七里/小学館)

AI 裁判官のテスト運用中、18歳少年による親殺しが起き……。

○板上に咲く MNAKATA(原田マハ/幻冬舎)

1924年、画家ゴッホへの憧れを胸に上京した棟方志功だが、師もなく、金もなく…。棟方と苦楽を共にし、支えた妻・チヤと世界のムナカタの物語。

○百年の子 (古内一絵/小学館)

明日花は自社出版した学年誌の歴史を調べるうちに、祖母が編集に関わっていたことを知り…。戦中から令和の出版界を舞台に子どもと女性が人生をつかみ取る姿を描く。

○もしも徳川家康が総理大臣になったら (眞邊明人/サンマーク出版)

感染症で総理大臣が死亡。混乱の中、政府はAIとプログラムで偉人を復活させ、最強内閣をつくる。最強の英雄たちが日本を救う？マンガもアリ。

○あいにくあんたのためじゃない

(柚木麻子/新潮社)

いまは手詰まりに思えても、自分を取り戻した先につながる道がきつとある。生き抜く勇気がむくむくとわいてくる全6編

○ようこそ、ヒュナム洞書店へ (ファンボルム/集英社)

ソウル市内の「ヒュナム洞書店」。悩みを抱えたふつうの人々が今日も店で出会い……。



## エッセイ

○いのちのそばで 徳永進/著

鳥取の「野の花診療所」は小さなホスピス。医師である著者が患者さんと家族の姿をうつしだした、おそらく最後のエッセイ。

